

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム  
プロジェクト推進型 SBIR フェーズ1 支援  
2024 年度事後評価結果

|           |   |
|-----------|---|
| グラント番号    | JPMJST2458  |
| 研究開発課題名   | MEMS 差圧センサ素子を利用した波高センサの研究開発   |
| 研究代表者     | 慶應義塾大学 理工学部 准教授 高橋 英俊   |
| 研究開発成果の概要 | 波高センサの低価格化・低消費電力化・小型化という課題を解決するために、超高感度な MEMS の圧電抵抗型カンチレバーをセンサ素子とする差圧センサという技術シーズを用いた波高センサを研究開発し、試作した波高センサを用いた実証実験に取り組み、その有用性を示した。 |

総合評価

センサモジュールがゆえにシンプルな構成であり、技術成熟度が高く、実用化も近い。コスト面の優位性がありテーマは合致しているが、実用化にむけては荒天時・風の影響下での性能、消費電力などの重要スペックの検証を進め、システム化の見通しを明確にする必要がある。ビジネス面では、センサとしての完成度を高め、応用先を広く展開し、ビジネスモデルの検討および開発先パートナーとの連携を進める必要がある。

以上